

餌をやりにてかけました



昨年 12 月に出かけましたが、それ以来、今年初めての魚釣りです。
早起きをして、諸磯の海に出かけました。
今日は、春霞がかかり、天城山も富士山も江の島も見えません。

共に歩む会のメンバーとして、岩場に着いてから、まず大物をゲットした場合に
備え、タボを開いてセットしてあげました。
また、釣れた魚を入れるためにバケツに海水を汲んで入れてあげました。

ところが今日は夫のウキは、一度も、ピクリとも、しなかったのです。
タボ、バケツの水は役立たずでした。
でも、常日頃豪語している「餌やり」作業はできたようで、何よりでした。
海の匂いを嗅ぎ、解放感に浸る。それが幸せなのでしょうね！

私は生きている魚には触ることができません。
命の鼓動をもろに感じて、恐ろしくなってしまう。
海を見て、ぼんやりして楽しみます。
小さな岩場に鳥がジーンと休んでいました。まったく飛ぶ様子はありません。
彼らは魚がないのを知っていたのでしょうか。(2014.4.10)